

北九州空港の貨物地区について

■北九州空港貨物地区の概要

- 敷地面積：約12,100㎡（拡張前：6,800㎡ + 拡張地：5,300㎡）
- 整備施設：国内貨物上屋、国際貨物上屋（第1・第2）、保税テント倉庫
- 施設所有者：北九州エアターミナル（株）



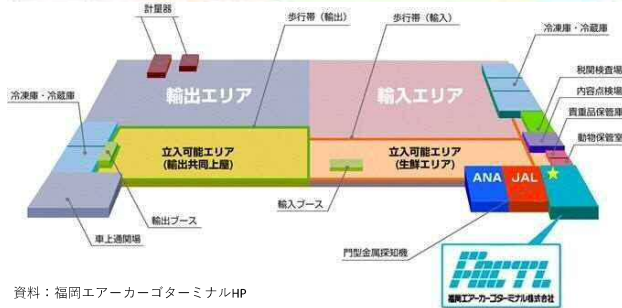
■第2国際貨物上屋の整備概要

- 実施主体：北九州エアターミナル（株）
- 敷地面積：約5,300㎡
- 整備内容：貨物上屋、トラックヤード、計量器等設備
- 竣工：令和4年7月
- 整備特徴：既存国際貨物上屋と一体化、庇長を確保し貨物の雨濡れ防止



福岡空港の貨物地区（国際貨物上屋）について

充実したターミナルと万全の業務体制でベストサービスをお客さまのニーズにお応えする環境づくりに努め、きめ細やかなサービスを提供いたします。



資料：福岡エアーカーゴターミナルHP

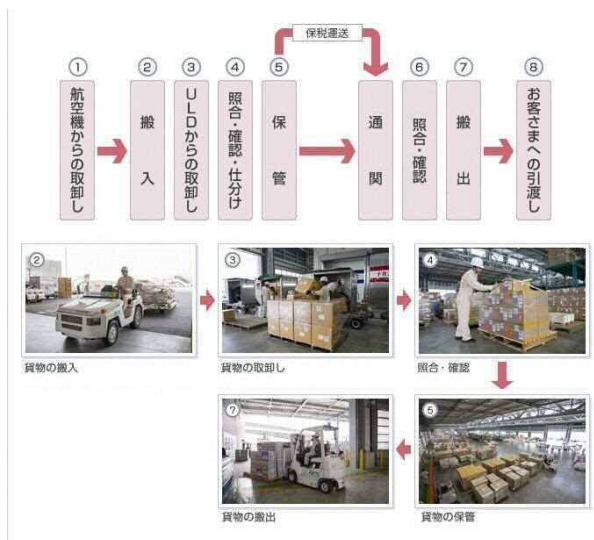
主要施設・設備

保税蔵置場 10,377 m ²	
輸入エリア	輸出エリア
内容点検場 64m ²	輸出共同上屋 1,169m ² 車上通関場 410m ²
冷蔵庫 / 2機 104m ² 冷蔵庫 / 1機 27m ²	冷蔵庫 / 1機 119m ² 冷蔵庫 / 1機 86m ²
貴重品保管庫 7m ² 動物保管室 5m ²	計量器 20t 10t 3t

※ 冷蔵庫 +5℃、冷凍庫 -20℃に設定。

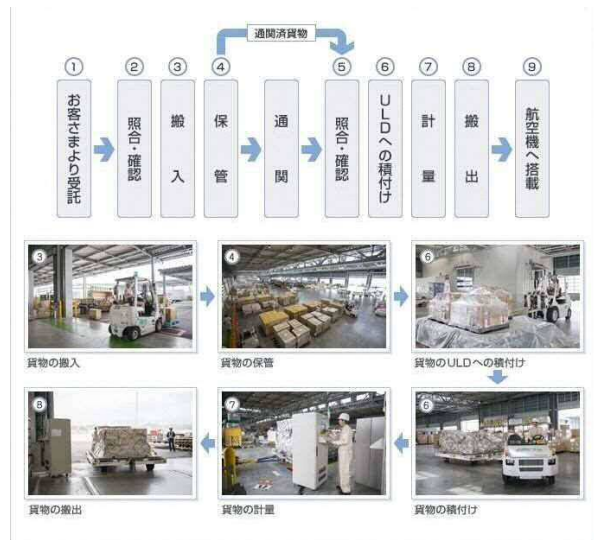
福岡空港国際貨物上屋における貨物の流れ

輸入貨物の流れ



資料：福岡エアーカーゴターミナルHP

輸出貨物の流れ



福岡エアーカーゴターミナル株式会社（FACTL）会社概要

1 会社概要

- 会社名 福岡エアーカーゴターミナル株式会社
- 設立年月日 1989 年(平成元年) 6 月 1 日
- 事業所 福岡市博多区大字上臼井 623 番地
- 代表者 代表取締役社長 櫻木 雅仁
- 資本金 5 千万円
- 従業員数 12 名(2022 年 4 月 1 日現在)
- 株主 福岡国際空港株式会社 (40%)
日本航空株式会社 (40%)
ANA ホールディングス株式会社 (20%)

2 事業内容

- 輸出入貨物の蔵置、荷役及び貨物の取扱い
- 荷役機材及び機器の整備、保管、賃貸
- 1、2 に付帯する一切の事業

3 貨物取扱量

(単位：トン)

	輸出	輸入	合計
2012年度	17,457	37,341	54,798
2013年度	19,964	38,229	58,193
2014年度	21,600	37,700	59,300
2015年度	23,677	37,580	61,257
2016年度	28,219	42,656	70,875
2017年度	31,842	41,551	73,393
2018年度	33,075	40,020	73,095
2019年度	24,199	33,824	58,023
2020年度	15,946	18,596	34,542
2021年度	19,109	24,564	43,673

資料：福岡エアーカーゴターミナル HP